

檄

港湾福祉センターの前進に合流し

テント村の状況を解決していかう！

テント村の労働者諸君！ とりわけ越冬実行委諸君！
今のわれわれの状況を評価してみよう。

きのう五日、労働者がテント村で死んだ。

考えてもみよう。テント村の労働者はもう一週間も

青カンしている。

それ以前から青カンして弱りきっている労働者も集

めてきたテント村で死者が一人ももし出なかつたら

その方が反対に不思議だろう。

それはかりではない。

もし雨が降つたらあと何人死ぬんだ！

雨が雪だつたらどうなるんだ！

テント村はまさに天候の好運の上にやっつて来れたと

ハうべきだろう。

この状態をもし当前として手のうちようも考えられ

ないようでは非常に困るとハうべきだろう。

われわれは雨が降らないうちに雪がふらないうちに

一刻も早くテント村の疲れきつた労働者をちや

んとした寝具と食事と医療でもって健康を回復させな

ければならない。

今までわれわれが無料宿泊所に一人でも多くの労働

者を送りこんだ理由は、またその焦りはまさにこの

点にあつたといつていいだろう。

わざわざ断りを入れたり顔色をうかがつたりしな

ければならぬ管理人がいなくなつたのだからでき

るだけ多くのテント村労働者を宿泊させてもらい

たいものである。

港湾福祉センターの労働者の追求の前に管理人ども

はトンコしてしまつた。

このことによつて全無料宿泊所における本質的矛盾

が暴露された。

管理する者と管理され収容される者の間の矛盾は、

管理される者の側によつて管理する者がトンコす

ることによつて露呈された。

無料宿泊所では十日まで全労働者は出されること

になつてゐる。

十日になる前に事態の矛盾をできるだけ早く突進
まなければ、十日になつて解決策など出てくるわけは
ない。

仰は、そして種々の矛盾が明白化して行く。
事の本質が白日の下にさらされていくことは、そ
してそれができるだけ早く、できるだけ徹底的であ
ればある程、良いことである。

だが、われわれは事の本質化、明白化の前にビツクリ
仰天して、しばしばたじろいでしまふことがよくある。

冷静沈着に次の一歩前進を歩き抜こう。
料理するに、そんなこと位われわれでできる。

この世に管理人などそもそもいらぬのだ。
われわれはこのことを労働者に訴えてきたし、訴え

つづけなくてはならない。

管理人？、そんなものが、机を叩いたら逃げ出すか、
どなつてみたら逃げだすか、あるいはチヨット抗議し
ただけで逃げ出すか、そうした管理人が、いつ逃げるか
という都合にあわせて、闘争をひかえめにやることは
できない。

全ての闘う労働者諸君、とりわけ越冬実行委諸君

、
港湾福祉センターの前進に学び、合流しよう！